

# 新生児聴覚スクリーニング検査の 実施体制と検査状況



埼玉県 保健医療部 健康長寿課

# 1. 新生児聴覚検査実施体制について

(1) 検査のながれ

(2) 公費助成状況・検査実施機関

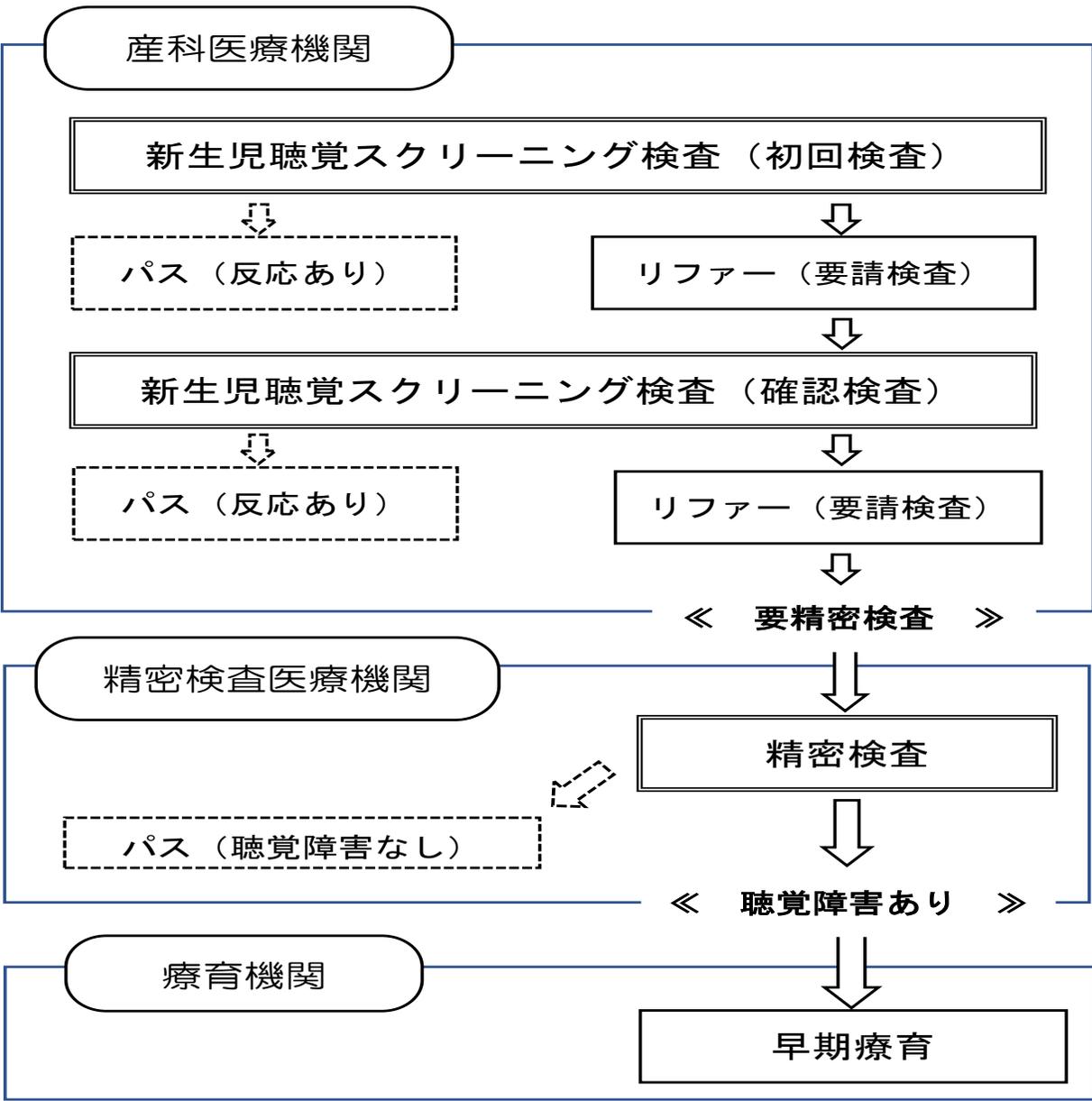
# 2. 検査実施状況について

# 1.(1)検査のながれ

市町村こども家庭センター等

①初回検査結果報告  
(助成券請求)

②精密検査結果報告



①

## 新生児聴覚検査助成券

(1/2)

(医療機関保管用)

母子健康手帳No.			
フリガナ			
母の氏名		児の氏名	
住 所 (住民票のある住所)	Tel ( )		
母の生年月日	昭和・平成	年	月 日生 ( 歳)

次の新生児聴覚検査を依頼します。

結果は、下記及び母子健康手帳へ必ず記入してください。

この助成券により、初回検査でかかった費用から

**〇〇円**(自動ABR検査)/**〇〇円**(OAE検査)が差し引かれます。

助成額を超えた分については、自己負担となります。

児の生年月日		令和 年 月 日	検査実施月齢	ヵ月
初 回 検 査	検査年月日	令和 年 月 日		
	検査方法	どちらかに ○を付けてください	1. 自動ABR	2. OAE
	結果	右耳	1. パス	2. リファー
再 検 査	検査年月日	令和 年 月 日		
	検査方法	どちらかに ○を付けてください	1. 自動ABR	2. OAE
	結果	右耳	1. パス	2. リファー
精密検査機関紹介先				
市町村への連絡事項				
医療機関所在地				
医療機関名				
医師氏名				

<保護者の方へ>

・初回検査に係る費用の一部について公費で負担するものであり、無料券ではありません。(再検査費用は本人負担になります。)  
 ・助成券の額を超えた分について、窓口でお支払いください。  
 ・医療機関と相談の上、新生児聴覚検査実施時にご利用ください。  
 ・児の耳の聞こえについて市町村から連絡させていただくことがあります。医療機関で助成券を使用することにより、市町村への情報提供について、同意したものとみなします。

発行市町村外へ転出された場合には、この助成券の使用はできません。

3年度新生児聴覚

②

## 新生児聴覚検査精密検査依頼書

(依頼先) 精密検査医療機関

\_\_\_\_\_ 御中

(依頼元) 新生児聴覚検査実施医療機関

新生児聴覚検査を実施し、結果は下記のとおりです。

精密検査の実施等よろしくお祈いします。

対象児氏名 \_\_\_\_\_

生年月日 \_\_\_\_\_ 年 \_\_\_\_\_ 月 \_\_\_\_\_ 日

保護者氏名 \_\_\_\_\_

保護者住所 \_\_\_\_\_

### 新生児聴覚検査結果 (自動ABR・OAE)

初回検査 ( 年 月 日)	右耳	Pass	・	Refer I (要再検査)
	左耳	Pass	・	Refer I (要再検査)
再検査 ( 年 月 日)	右耳	Pass	・	Refer II (要精密検査)
	左耳	Pass	・	Refer II (要精密検査)

## 新生児聴覚検査精密検査報告書

新生児聴覚検査実施医療機関

\_\_\_\_\_ 市町村長

精密検査結果について以下のとおり報告します。

### 精密検査機関での診察結果

診断名	
検査所見	検査日: _____ 年 _____ 月 _____ 日 検査方法: ABR _____ その他( _____ ) 検査結果: 右耳 _____ 左耳 _____
今後の方針	(1) 治療開始(治療法: _____ ) (2) 療育機関紹介(紹介先: _____ ) (3) 経過観察 今後の方針( _____ )
備考	

精密検査実施医療機関名 \_\_\_\_\_

医師氏名 \_\_\_\_\_

# 1.(2) 新生児聴覚検査公費助成

## ・ 県内全市町村で初回検査の公費助成を実施

令和7年度助成額: 自動ABR 5,000円(50自治体) / 3,000円(13自治体)

○ A E 3,000円(56自治体) / 1,500円(7自治体)

## ・ 契約状況

県が契約権限の委任を受け契約を実施。

委託契約締結状況 (R7. 12月時点)	
県医師会所属機関	82機関
その他県内医療機関	3機関
県助産師会所属機関	12機関
県外医療機関	196機関

### 新生児聴覚検査のながれ

**早期治療**  
早期(生後6か月以内)に療育を開始しましょう。

**検査終了**  
この時点で聞こえの問題はありません。今後も聞こえの様子に気をつけ、市町村の乳幼児健診で聞こえやことばのチェックを受けましょう。

### 赤ちゃんのきこえとことばの発達のため

ことばの発達には個人差がありますので、気になるときは、かかりつけの医師や市町村保健センターにご相談ください。

- 2~3か月頃**  
①話しかけると、アーとかワーと声を出して喜ぶ(またはニコニコする)。  
②ラジオの音、テレビの音、コマースナルなどに顔(または眼)を向けることがある。
- 5~6か月頃**  
①父母や人の声など他人の声をききわける。  
②話しかけたり歌をうたってあげるとじっと顔をみている。  
③声をかけると意図的にさっと振り向く。
- 9か月頃**  
①外のいろいろな音(車、雨、飛行機など)に関心を示す。  
②音楽や歌をうたってあげると手足を動かして喜ぶ。  
③ちょっとした物音や、ちょっとでも変わった音がするとハッと向く。
- 12~15か月頃**  
①となりの部屋で物音がすると、不思議がって耳を傾けたり、あるいは舌回して教える。  
②目、耳、口、その他の身体部位をたずねると指をさす。

(一社)日本耳鼻咽喉科学会「新生児聴覚スクリーニングマニュアル」より

### 新生児聴覚検査のご案内

新生児聴覚検査については、かかりつけの医師、またはお住まいの市町村保健センターにお問い合わせください。

発行 埼玉県保健医療部健康増進課母子保健担当  
〒330-9301 さいたま市浦和区高砂3-15-1  
TEL 048(830)3561(直通)  
埼玉県庁エグジekutivコンシェルジュ(さいたま市)

# 2. 新生児聴覚検査実施状況

## ① 初回検査受検者数

年度	出生児数(人)	受検者数(人)	未受検者数(人)	不明(人)	受検率(%)
	①	②	③	④	②/①
R 4	44,745	42,928	314	1,572	95.9
R 5	43,594	42,450	344	800	97.4
R 6	41,116	39,465	348	1,303	95.9

※ R4年度の①出生児数=②受検者数+③未受検者数+④不明が一致していない理由について  
受検者数には転出入者を含め、新生児訪問等により受検状況を把握した児を計上しているため。

## ② 初回検査

年度	受検者数(人)	検査結果(人)			初回検査リファー率(%)
		パス	リファー	結果不明	
	②	⑤	⑥	⑦	⑥/(⑤+⑥)
R 4	42,928	42,072	664	192	1.55
R 5	42,450	41,673	705	72	1.66
R 6	39,465	38,330	694	441	1.63

# 2. 新生児聴覚検査実施状況

## ③ 初回検査でリファアとなった児の確認検査状況

年度	初回検査でリファアとなった児(人)	確認検査受検者数(人)	確認検査受検率(%)	検査結果(人)			確認検査リファア率(%)
				パス	リファア(要精検)	結果不明	
	⑥	⑧	⑧/⑥	⑨	⑩	⑪	⑩/(⑨+⑩)
R 4	6 6 4	6 3 4	9 5. 5	3 8 9	2 4 5	1	3 8. 6
R 5	7 0 5	6 6 6	9 4. 4	4 4 3	2 2 3	0	3 3. 4
R 6	6 9 4	6 5 8	9 4. 8	4 1 3	2 1 9	2 6	3 3. 2

## ④ 確認検査でリファアとなった児の精密検査状況

年度	確認検査でリファアとなった児(人)	精密検査受検者数(人)	精密検査受検率(%)	検査結果(人)				難聴診断児/出生児数(%)
				正常	両側性・一側性難聴	評価不能	結果不明	
	⑩	⑫	⑫/⑩	⑬	⑭	⑮	⑯	⑭/①
R 4	2 4 5	2 5 4	1 0 3. 7	1 3 5	1 0 8	7	4	0. 2 4
R 5	2 2 3	2 1 7	9 7. 3	9 3	1 0 9	1 1	4	0. 2 5
R 6	2 1 9	1 9 6	8 9. 4	8 2	8 1	1 7	1 6	0. 1 9

## 2. 新生児聴覚検査実施状況

### ⑤ 精密検査の実施時期

年度	精密検査受検者数(人)	生後3か月以内に精密検査を受検した人数(人)	割合(%)
	⑫	⑮	⑮/⑫
R 4	254	205	80.7
R 5	217	176	81.1
R 6	196	148	75.5

### ⑥ 療育の開始時期

年度	両側・一側性難聴と診断された児(人)	生後6か月以内に療育を開始した人数	割合(%)
	⑭	⑰	⑰/⑭
R 4	108	58	54.2
R 5	109	39	35.7
R 6	81	40	49.3

※ 3か月以内の精密検査・6か月以内の療育開始が実施できていない理由

- ・ 早産や低体重児のため、精密検査の実施が困難
- ・ 精密検査実施医療機関で経過観察中
- ・ 現時点での療育は不要との医師の判断があった 等

# 新生児聴覚検査の検査状況・精度管理業務について

産科医療機関等が実施している新生児聴覚検査について、検査実施状況の把握・確認や検査の精度管理を行う。

委託先：（一社）埼玉県産婦人科医会

## 精度管理の意義

新生児聴覚検査の実施医療機関に対し、検査体制や精度について、助言・指導を行うことで、検査の精度を向上させ、確実に難聴児の早期発見、早期療育に繋げていくもの。

国が示す「難聴児の早期発見・早期療育推進のための基本方針」においても、実施が推奨されており、第7期埼玉県障害者支援計画に掲載されている。

## 業務内容

- ① 産科医療機関で実施する新生児聴覚検査の以下の事項を確認
  - 検査結果数(両側PASS、要再検査、要精密検査数等)の把握
  - 要再検査（確認検査）率・要精密検査率（検査機器ごと）、検査回数
  - 精密検査機関の受診時期（3か月以内）
- ② 報告結果を基に、専門医に意見照会
- ③ 専門家からの意見を踏まえ、医療機関の検査方法や体制について、実地指導
- ④ 埼玉県に精度管理の結果を報告

産科医療機関

新生児聴覚検査実施

①検査結果報告

県産婦人科医会

③専門医からの意見に基づく助言・指導

専門医

②意見照会

④結果報告

埼玉県

# 新生児聴覚検査精度管理・R6年度結果

## ① 調査対象(分娩取扱施設)数・回答数

種別	施設数	回答あり	回答割合 (%)
周産期センター	12	12	100%
病院	21	21	100%
クリニック	45	45	100%
助産院	13	13	100%
計	91	91	100%

## ② 初回検査装置使用状況

種別	ABR	OAE	備考
周産期センター	11	1	初回のみOAE
病院	19	2	初回のみOAE
クリニック	44	2	初回のみOAE
助産院	13	-	
計	87	4	95%

# 新生児聴覚検査精度管理・R6年度結果

## ③ 各施設の分娩数、出生児数、聴覚検査実施数

種別	分娩数	出生児数	聴覚スクリーニング 検査実施数
周産期センター	3, 216	3, 418	3, 210
病院	6, 594	6, 600	6, 745
クリニック	9, 200	9, 225	8, 984
助産院	48	48	48
計	19, 058	19, 291	18, 987

## ④ 新生児聴覚スクリーニング検査(初回)の結果

種別	聴覚検査 実施数	初回検査 PASS	初回検査Refer		
			右	左	両
周産期センター	3, 212	3, 125	21	44	22
病院	6, 631	6, 184	130	185	132
クリニック	8, 942	8, 654	106	140	42
助産院	48	48	0	0	0
計	18, 833	18, 011	257	369	196

# 新生児聴覚検査精度管理・R6年度結果

## ⑤ 新生児聴覚スクリーニング検査(再検査)の結果

種別	再検査者	再検査 PASS	再検査 Refer	要精密検査
周産期センター	78	51	27	29
病院	314	292	22	22
クリニック	279	233	45	42
助産院	0	0	0	0
計	671	576	94	93

## ⑥ 要精密検査者の結果

種別	要精密検査者	受診結果		経過観察中	不明 受診未
		正常	難聴		
周産期センター	29	6	17	5	1
病院	22	9	10	3	0
クリニック	42	22	11	8	1
助産院	0	0	0	0	0
計	93	37	38	16	2

# 新生児聴覚検査精度管理・R6年度結果

## ⑦ 新生児聴覚スクリーニング検査の精度管理

種別	平均初回 PASS率	初回PASS率の 範囲	初回PASS率 90%未満の施設
周産期センター	96.9%	89.2-99.4	1
病院	95.1%	71.6-100	3
クリニック	96.1%	67.3-100	3
助産院	100%	100-100	0
計	96.9%	-	7

## ⑧ 初回PASS率の低い7施設

種別	検査法	新生児聴覚 検査数	初回検査の PASS数	初回PASS率
A病院	ABR	284	191	67.3%
B病院	ABR	1,483	1,062	71.6%
C病院	OAE	74	58	78.4%
D病院	ABR	115	95	82.6%
E病院	ABR	7	6	85.7%
F病院	ABR	488	430	88.1%
G病院	OAE	121	108	89.3%

# 新生児聴覚検査精度管理・R6年度結果

## ⑨ 耳鼻科医師、県産婦人科医会内での協議

### (1) 耳鼻科医師との協議

- ・要精密検査児の受診状況が明らかとなったことを評価
- ・精度管理の方法は初回PASS率の比較が妥当
- ・PASS率の低い施設の装置の不具合や検査方法について確認が必要

### (2) 県産婦人科医会内での協議

- ・特別委員会で結果説明、最終評価。
- ・特別委員会委員がPASSの低い3施設(A病院、B病院、D病院)に訪問調査

## ⑩ 3施設の訪問調査結果

### (1) A病院

- ・光線治療装置の近接配置、内部バッテリー異常等の複数の要因が初回PASS率の低下に影響していた可能性あり。
- ・検査環境等の再確認するとともに、販売元とも情報共有を行い、定期的な点検を行うよう指導した。

### (2) B病院

- ・2023年10月にABR装置を購入。2024年6月の初回PASS率が50%以下となった。
- ・製造元に確認したところケーブルの初期不良が判明。交換したところ改善された。

### (3) D病院

- ・2024年1月に装置の定期点検を実施したが、2～4月にPASS率が極めて低くなった。
- ・以下の2点を改善したところ、Referの頻度が改善された。

- ①検査場所の1m以内にWi-Fiルーターを置かないこと、②電源を直接コンセントに差し込むこと

# 新生児聴覚検査精度管理・R6年度結果

## ⑪ 総括

- ・県内の分娩施設のほぼ全てで検査は適切に実施
- ・要精密検査者は、受診予定も含めて全例が専門施設での精密検査を受診、かつ確実に療育に繋がられている。
- ・本体部分だけでなくプローブの定期点検・交換の重要性が明白に。
- ・確実な受診につなげるために、本調査の継続する必要あり。